回復期リハビリテーション病棟における治療実績

2025年7月

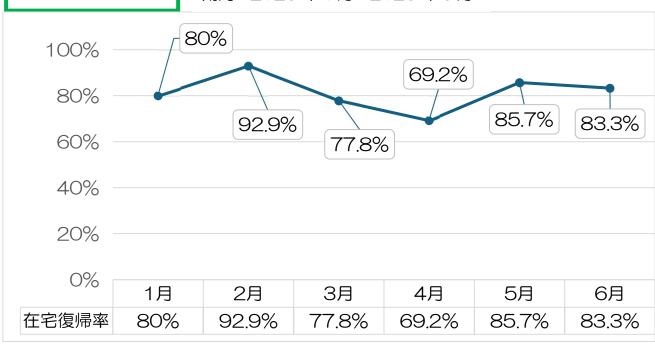
回復期病棟から退棟した患者数の推移

期間: 2025年1月~2025年6月



在宅復帰率の推移

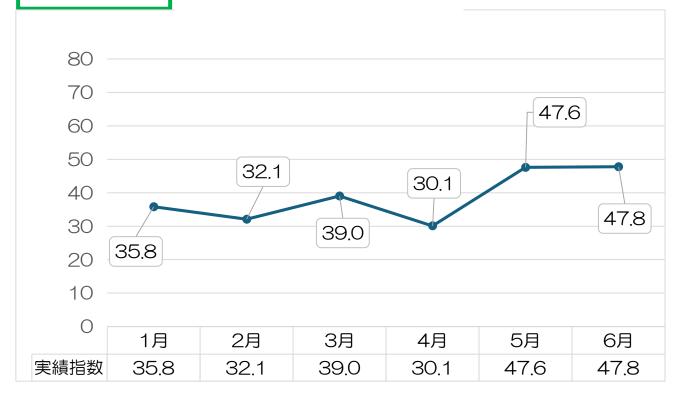
期間:2025年1月~2025年6月



期間通しての在宅復帰率 = 81.5%

実績指数の推移

期間: 2025年1月~2025年6月



期間通しての実績指数 = 39.2



実績指数とは、「入院から退院に至るまでの間にどれだけ ADL が改善したか」という点と、「在院日数が何日なのか」という点に着目し、これらを規定の式に入れることで算出されます。

実績指数は、入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど、高くなります。よって、この数値が高い病院ほど、より短期間でより効果の高いリハビリテーションを提供する病院であると言えるのです。

ADL=日常生活動作

ADL(日常生活動作)とは Activities of Daily Living のことで、ADLのAはアクティビティー(動作)、DL はデイリーリビング(日常生活)を指します。日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」などの動作のことです。

回復期リハビリテーション病棟を要する状態の区分別内訳

期間:2025年4月~2025年6月

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、 19.6% 脳腫瘍、脳炎、急性脳症背髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、 腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要 する状態 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の 76% 多発骨折の発症後又は手術後の状態 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、 0% 手術後又は発症後の状態 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の 2.2% 状態 股関節又は膝関節の置換術後の状態 2.2%